

『東亜』2015年11月号目次 「特集：アジアと向き合う日本の進路」

■COMPASS

- * 軍事パレードと合同サマープログラム 園田茂人
- * アメリカ外交の自画像と国際秩序の将来 佐橋亮
- * 北朝鮮、暗鬱な党創建70周年の舞台裏 城内康伸
- * 台湾を急迫する中国のサプライチェーン 早田健文

■特集 アジアと向き合う日本の進路

- * 日本の対アジア援助はどう評価されてきたのか 千野境子
- * アジアの安全保障アーキテクチャ 神保謙
- －米中対峙の中での地域安全保障の三層構造の変化

■ON THE RECORD

- * 戦後70年のアジアと日本 中西寛

■ASIA STREAM

- * [中国の動向] (2015年9-10月)

中国の四半期GDPが遂に7%割れ 濱本良一

- * [台湾の動向] (2015年9-10月)

支持率で蔡英文氏は独走、洪秀柱氏は迷走 門間理良

- * [朝鮮半島の動向] (2015年9-10月)

朝鮮労働党創立70年－北朝鮮の変化 現地報告－ 鴨下ひろみ

■マカオは今〔30〕

- * 二重忠誠問題、カジノ減収下のマカオ拡大 塩出浩和

■Briefing Room

- * 豪の首相交代、潜水艦受注に逆風か

－親日派アボット氏が総選挙を前に突然の退陣 伊藤努

■CHINA SCOPE

- * パンダ外交の現代的意義 家永真幸

■チャイナ・ラビリンス〔139〕

- * 反腐敗活動は党合法性死守のため 高橋博

■連載 中国の政治制度と中国共産党の支配：重大局面・経路依存・制度進化〔2〕

- * 「維権運動」に見る中国の社会と国家の攻防 呉茂松

■New Publications on Asia